

公立大学法人横浜市立大学 第4期中期計画策定 進捗状況について

1 法人評価委員会における経過と今後の進め方

開催月	経過と今後の進め方
令和4年3月	骨子案の意見聴取
5月・7月	委員会でのご意見を踏まえ、計画の構成及び骨子を修正
8月【今回】	骨子及び計画項目の決定、指標（たたき台）の意見聴取
10月	計画本文（文章）素案、指標案の意見聴取
令和5年2月	法定意見聴取

2 計画の構成

第3期（計画数：51）
I 教育研究等
II 地域貢献
III 国際化
IV 附属2病院
V 法人の経営
VI 自己点検及び評価
VII （以下、省略）

第4期（計画数：48）
I 教育
II 研究
III 医療
IV 法人経営
V 自己点検及び評価
【横断的項目】地域貢献
【横断的項目】グローバル展開
VI （以下、省略）

3 指標について

指標は実現可能性に配慮しつつも、可能な限りの努力を促すものとして、次の考え方で検討をしています。

なお、今回は現時点で考えられる指標の例示となります。今後、中期目標の提示を受け、計画本文の策定を進めていく中で、より適切な指標を検討していきます。

【指標の考え方】

- ・ 定量的な指標については、数値目標として設定する。
- ・ 定性的な目標については、計画本文中で表現する。
- ・ 指標は、計画本文で表現する「目指す水準の達成のために実施していること」が検証できるものとする。
- ・ 計画本文の達成に直接的に結びつかない指標や各部署の行動目標となる指標については、原則中期計画の指標ではなく、年度計画や年度実績へ記載することを検討する。
- ・ 計画毎に必ずしも指標を立てる必要はなく、また各計画をまたぐ指標の設定も可能とする。

第4期中期計画骨子項目と指標（たたき台）

中期計画	指標（たたき台）	【参考】第3期の指標
I 教育		
<教育の柱> 問題発見・課題解決力の涵養と新たな価値を創造する人材の育成		
<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> 【凡例】斜字体の指標は第3期にもあるもの 【凡例】斜字体の指標は第4期の案にもあるもの </div>		
1 新たな時代を見据えた教育の提供		
<p>(1) 教育の質保証と新たな教育手法の開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 高等教育推進センターを中心とした教育の質保証の推進 ② 高等教育推進センターを中心とした新たな教育手法の開発等 <p style="text-align: center;">} 最終的にはこの部分を文章化する</p> <p>(2) 領域横断教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学術院を軸とした領域横断教育の推進 ② 共通教養教育の改革 ③ グローバル教育の推進 	<p>① IRと連動（課題や分析結果を基にした）したFD実施回数/年</p> <p>① <i>FD受講率</i>：受講率80%以上<認証評価関連></p> <p>① 領域横断型プログラムの履修者数/履修者の満足度（SDGs関連プログラム含む）</p> <p>② <i>学生満足度</i>（共通教養のカリキュラム評価関連）：肯定的回答80%以上/年</p> <p>② 数理データサイエンスAI教育プログラムに係る指標（仮）：履修者数/履修率</p> <p>③ グローバル教育の方針策定<グローバル展開>【4-(1)】再掲</p>	<p>【3】 <i>FD研修における受講率</i>：75%/年</p> <p>【1】・【5】 <i>学生満足度（カリキュラム評価関連）</i>：80%/年</p> <p>【1】 教育改善に係る学生参加人数：延べ100人/年</p> <p>【5】 領域横断型教育プログラム受講者数：延べ1,000人</p> <p>【20】 派遣学生比率：卒業までに3人に1人以上の学部生が海外体験<国際化></p>
2 5学部6研究科における教育の充実		
<p>(1) <国際教養学部・国際商学部・理学部・データサイエンス学部></p> <p>① ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</p> <p>(2) <医学部></p> <p>① ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</p> <p>(3) <都市社会文化研究科・国際マネジメント研究科・生命ナノシステム科学研究科・生命医学研究科・データサイエンス研究科></p> <p>① ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</p> <p>(4) <医学研究科></p> <p>① ディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシーを踏まえた教育の提供</p>	<p>① <i>学生満足度（カリキュラム評価関連）</i>：肯定的回答85%以上/年</p> <p>① 新卒受験者の国家試験合格率（数値：全員合格）医師、看護師、保健師</p> <p>① 「リカレント教育」に係るプログラム設置数<市の中期計画関連>【5-(1)】再掲</p> <p>① プログラムを履修した受講生の満足度【5-(1)】再掲</p> <p>① リカレント教育に係る指標については、大学院の項目の記載内容も含めて今後検討</p> <p>① 新卒受験者の国家試験合格率（数値：全員合格）助産師</p> <p>① リカレント教育に係る指標については、大学院の項目の記載内容も含めて今後検討</p>	<p>【7】 日本医学教育評価機構による評価：認定</p> <p>【8】 社会人学生数（医学研究科を除く）：100人</p> <p>【9】 連携機関等との交流数の割合：70% (交流機関数<派遣・受入有>/総関連機関数<協定締結有等>)</p>
3 時代に即した学修環境・学生支援の提供		
<p>(1) 学修者本位の教育に向けた学修環境提供</p> <ul style="list-style-type: none"> ① DX（LMS）、多様な授業形態の活用★IV-2(1)①と関係 ② 学術情報の提供のあり方検討 ③ 問題発見・課題解決力養成のための学修環境整備・支援 <p>(2) 学生生活支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 学生支援のあり方検討 ② 課外活動支援（ボランティア活動含む） ③ 健康面での支援、多様な学生への配慮 	<p>① LMS（YCU-Board）の活用に関する指標（学士課程における開講授業科目のLMS利用率、IRにつなげる必須項目の入力率）</p> <p>③ 学生満足度(ガイダンス受講アンケート等)</p> <p>② <i>ボランティア派遣数</i>：355～570/年</p> <p>② SDGs関連取組数：4～5/年</p> <p>③ 学生定期健康診断受診率（問診回答率）</p> <p>③ バリアフリー支援希望者への応答率、メンタルヘルスクリーニング応答率は参考指標として検討</p>	<p>【6】 全授業科目でのアクティブラーニング導入率（導入科目/全科目）：80%</p> <p>【15】 <i>ボランティア派遣数</i>：1,650人/6年間累計</p>

中期計画	指標（たたき台）	【参考】第3期の指標
I 教育		
4 多様で優秀な人材の獲得と輩出		
(1) 優秀な人材の獲得 ① 高大連携のあり方見直し ② 質が高く多様な人材を獲得する入学選抜 ③ 優秀な留学生の戦略的獲得	① オンラインを活用した高大連携の取組件数 ② 大学入学共通テスト合格者平均得点率 ③ 英語A水準以上の新入生割合 ④ 本学受験の決め手として「教育理念・目標、教育内容・カリキュラム」を挙げた者の割合 ⑤ 志願者との接触回数（本学イベント参加、高校・予備校訪問数、入試ガイダンス参加数） ⑥ 留学生比率＜グローバル展開＞ ⑦ 計画案「国の進める教育・入学選抜改革で求められる多面的・総合的な評価等への対応も踏まえつつ、多様（人間性、地域的）で優秀かつ本学が求める人材の入学者受入れを目指す。」と併せて検討	【19】 留学生比率：全学生の10%＜国際化＞ 【4】 志願者総数：4,000人
(2) グローバル教育、留学生支援 ① 多様な学生が教育を受け成長できる環境 ② 留学生にとって魅力あるカリキュラムと国際共修プログラムの拡充	(2) グローバル教育の方針策定＜グローバル展開＞	
(3) キャリア支援 ① 社会の動向を見据えたキャリア支援 ② 多様性を踏まえたキャリア支援（YCU-ADVANCEプログラムによる出口支援の充実とダイバーシティ推進含む）	① 就職希望者における就職率：100% ② 学生満足度（進路関連） ③ 留学生の国内企業等就職率（日本国内就職希望留学生の就職率）：5割超/年 ④ 卒業生の就職先企業等の卒業生評価について、実施可否を検討	【2】 就職希望者における就職率：100%/年
5 社会人の学び直し・生涯学習の推進		
(1) 社会ニーズに対応したリカレント教育の推進 ① 社会ニーズに対応したリカレント教育の提供	① 「リカレント教育」に係るプログラムを履修した受講生の満足度 ② 「リカレント教育」に係るプログラム設置数＜市の中期計画関連＞	
(2) エクステンション講座の実施 ① 幅広い年齢層やライフステージに対応した学びの提供	① 市民公開講座の満足度：90%	【17】 エクステンション講座数：600講座/6年間累計 （うち市等との連携講座数）：（150講座/6年間累計）

中期計画	指標（たたき台）	【参考】第3期の指標
Ⅱ 研究		
<研究の柱> 基礎的研究力及び高い研究倫理を土台とした戦略的かつ先進的な研究及び学際的研究の推進	【凡例】 <i>斜字体</i> の指標は第3期にもあるもの	【凡例】 <i>斜字体</i> の指標は第4期の案にもあるもの
1 先進的・学際的研究等の推進		
(1) 先進的な医科学研究の推進 ① 先進的な医科学研究の推進 ② 世界レベルの研究拠点となる基盤技術の推進 ③ ①及び②をもとにしたトランスレーショナルリサーチの更なる推進 ④ 臨床研究の推進 (2) 各領域における研究活動の推進 ① 世界的にも先進的な研究成果が創出できる研究拠点の構築 ② 学際的研究の推進 ③ 基礎的な研究力の強化	(1) AMED研究の採択数（6年間累計） (1)(2) <i>主要な学術誌等掲載論文数</i> （6年間累計） (2) 臨床研究法における <i>臨床研究の実施件数</i> (2) <i>新規治験の受入件数（医師主導治験も含む）</i>	【11】 <i>主要学術誌等掲載論文数</i> ：10%増（27年度実績比）【790件】 【12】 <i>科学研究費補助金採択件数</i> ：10%増（27年度実績比）【500件】 【31】 <i>特定臨床研究の実施件数</i> ：【附】30件/年、【セ】8件/年 【32】 <i>新規治験の受入件数（医師主導治験を含む）</i> ：【附】180件/6年間累計、 【セ】140件/6年間累計 【13】 先進医療の申請件数（がん関連）6件/6年間累計
2 オープンイノベーション等を通じた研究の推進		
(1) オープンイノベーション等を通じた研究の推進 ① オープンイノベーションの推進 ② 大学発ベンチャーの創出支援 ③ 研究成果の社会実装	① <i>民間企業等との共同・受託研究数</i> （6年間累計） ② ベンチャー創出数	【12】・【14】 <i>共同受託研究数</i> ：10%増（27年度実績比）【310件】
3 研究基盤の強化及び支援体制の整備		
(1) 研究基盤の強化 ① 研究支援体制等の強化 ② 研究者の研究環境等の整備 ③ 研究支援人材の育成 (2) 研究者の育成 ① 若手研究者の支援	(1) <i>科研費採択件数</i> （6年間累計） (2) <i>科研費若手、基盤Cの採択数</i> （6年間累計）	【12】 <i>科学研究費補助金採択件数</i> ：10%増（27年度実績比）【500件】

中期計画	指標（たたき台）	【参考】第3期の指標
Ⅲ 医療		
<医療の柱> 高度で安全な医療を提供し、地域医療の最後の砦として、市民に信頼され、教職員が誇れる大学病院	【凡例】斜字体の指標は第3期にもあるもの	【凡例】斜字体の指標は第4期の案にもあるもの
1 患者本位の医療の提供と医療安全の取組		
(1) 患者本位の医療の提供		
①療養環境の向上	①患者満足度	【33】患者満足度：【附】85%/年、【セ】80%/年
(2) 安全・安心な医療の提供		
①感染制御、医療安全	①医療安全に関する研修の受講率	【37】医療安全に関する研修の受講率：【附】100%、【セ】100%
②施設整備		
(3) ICT・DXの推進		
①ICT、遠隔診療（ITやデジタルを活用した業務の変革）		
(4) チーム医療の強化		
①多職種連携したチーム医療の推進や、IPW（多職種連携）・IPE（専門職連携教育）の強化及び大学教員との教育・研究の連携推進	①クリニカル（クリティカル）パス適用率 ①DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合	
2 質の高い医療の提供		
(1) 高度で質の高い医療の提供		
①ゲノム医療	①がんゲノム医療拠点病院の認定【附】	【31】先進医療申請件数：【附】12件/6年間累計、【セ】6件/6年間累計
②高度で先進的な医療	①難病ゲノム中核医療拠点の認定【附】	
	②先進医療申請件数	
	②手術件数	
(2) 医療の国際化への対応		
①医療の国際化		
②外国籍職員の就業支援・促進の活用		
③海外との医療交流		
3 政策的医療への貢献、地域医療の推進		
(1) 政策的医療の推進		
①がん医療・2025年問題・2040年問題・感染症医療・災害時医療・救急医療・周産期・最後の砦	①救急応需率の指標化や文章化を検討する。	
(2) 地域医療への貢献		
①地域医療への貢献		
(3) 地域医療連携の推進		
①地域医療構想の実現	③紹介割合	【28】紹介率：【附】90%、【セ】90%
②地域包括ケアシステムの構築	③逆紹介割合	【28】逆紹介率：【附】80%、【セ】85%
	③新入院患者数	【28】新入院患者数：【附】15,000人、【セ】20,500人
	③外来初診患者数（新患率）	【28】外来初診患者数（新患率）：【附】180人/日（10%）、【セ】190人/日（12%）
	③地域連携クリニカル（クリティカル）パス運用件数	
4 明日を担う質の高い医療人材の育成と活用		
(1) 医療人材の育成		
①アカデミックな分野も含めた看護師・コメディカル育成（活用）	②特定行為研修を修了した看護師の配置数	【26】特定行為研修を修了した看護師の配置数：【附】6人/6年間累計、【セ】6人/6年間累計
②特定行為に係る看護師	④初期研修医のマッチング率	【25】初期臨床研修医のマッチング率：【附】100%/年、【セ】100%/年
③教職員研修		
④医療人材育成（多角的な診療を担う人材育成）		
⑤感染症医療人材		
⑥予防医学人材		
(2) 医療人材の活用		
①職種を超えた共同研究		

中期計画	指標 (たたき台)	【参考】第3期の指標
IV 法人経営		
<法人経営の柱> 時代の流れに柔軟に対応できる持続可能な法人経営の確立		
	【凡例】斜字体の指標は第3期にもあるもの	【凡例】斜字体の指標は第4期の案にもあるもの
1 ガバナンス強化・コンプライアンス推進		
(1) ガバナンス強化 ① ガバナンス強化 ② 内部統制システムの運用 ③ 学生・教職員の安全確保に向けた危機管理体制の強化		
(2) 互いの立場を尊重しあえる風土づくり (風通しのよい職場づくり) ① コンプライアンスの推進		【38】 教職員意識調査 (コンプライアンス関連) : 評価 3 点以上 / 4 点満点
(3) 個人情報保護の推進 ① 情報漏えい再発防止策の実施 ② 個人情報保護を含めた総合的な情報セキュリティ対策 ③ 個人情報の適正管理の実施	② 全教職員を対象に、セキュリティ上安全なネットワーク環境やファイルサーバ環境を利用可能にする (R8年度全教職員)	
2 不断の経営改善及び持続可能な経営のための自己収入確保		
(1) DX推進及び業務改善 ① 学修データの集約・一元化とその分析による学びの個別最適化 (教育DX) ② 事務効率化・利便性向上を目指した総合的な事務システム改善 (文書管理、財務会計、人事給与、職員認証)	② 業務の効率化、電子化、働き方の多様性に対応した事務システムの改善	【45】 LAN環境高速化: 100% (各部屋までの 1 Gbps 環境普及率) ICT関連資格取得者: 事務組織の担当部署ごとに 1 人以上配置
(2) 自律的な運営に資する外部資金獲得施策の実施 ① 外部資金獲得のための計画的・戦略的な体制整備 ② 横浜市立大学基金の拡充に向けた長期計画策定と実行	② 寄附額 (100周年プロジェクトの寄附獲得額は再掲) ② 非目的指定寄附額	【50】 外部資金獲得件数: 10%増 (27年度実績比)
(3) 法人全体の効率的かつ効果的な運営 ① 法人経営のあり方の検討	5つのプロジェクト 1 外部資金のさらなる獲得 2 保有・管理する拠点等の在り方の検討 3 学部・研究科ごとの評価指標・特徴等の整理 4 企業連携の仕組み及び体制づくり 5 法人全体のDXの推進	【50】 法人全体の取支均衡の確保
3 教職員エンゲージメントの向上		
(1) 法人経営を支え、YCUブランドの向上に寄与する人材の育成と活用 ① 教職員が十分に力を発揮できる人事制度の適正な運用と構築 ② 病院経営人材	① 教職員意識調査 (人事制度・キャリア形成) に関する回答の平均値: 3 点以上 / 4 点満点 ○ SD研修受講率、実施回数: 75% / 年、3 回 / 年 < 認証評価関連 > ※掲載箇所別途調整	【42】 教職員意識調査 (人事給与と制度・人材研修関連) : 評価 3 点以上 / 4 点満点 【3】 SD研修における受講率、実施回数: 75% / 年、2 回 / 年 【41】 教員の海外派遣件数: 45 件 / 6 年間累計
(2) 教職員が生き生きと働くための組織風土の醸成 ① ダイバーシティの推進による誰もが活躍できる職場環境の実現 ② 働き方改革、タスクシェアリング ③ 多様な就労形態	① 教職員意識調査 (ダイバーシティ推進) に関する回答の平均値: 3 点以上 / 4 点満点 ② 医師事務作業補助者に関する指標 ① ダイバーシティ推進に関する指標は検討中	【43】 女性教職員の管理職の割合: 全体の 25% 障害者雇用率の促進: 法定雇用率以上

中期計画	指標（たたき台）	【参考】第3期の指標
IV 法人経営		
4 横浜市立大学ブランドの強化と広報（100周年・卒業生・基金の運動）		
<p>(1) 100周年事業（5プロジェクト）の実現とその先の将来につながる取組</p> <p>① 周年事業推進体制整備 ② 周年事業の機運醸成に向けた各種取組（学内外） ③ 学内外への情報発信力の強化</p> <p>(2) 卒業生連携 ① 周年事業を契機とした卒業生による支援ネットワーク</p> <p>(3) 横浜ブランドを活かしたグローバルネットワークの構築 ① 戦略に基づいた海外協定校の新規開拓と既存協定校との交流推進 ② 国際交流活動における広報発信</p> <p>(4) 戦略的広報の展開 ① 研究成果の積極的発信 ② YCUブランドの確立・浸透およびそれに基づく最適な広報展開 ③ 教職員の広報マインド及び発信力の涵養</p>	<p>① 100周年プロジェクトの寄附獲得額：16億円 ② 100周年を冠した学内イベントの数（全学での取組を表す指標） ③ 周年事業の成功に資する行動指標</p> <p>(3) グローバル教育の方針策定<グローバル展開>【再掲】</p> <p>② 研究の活性化、社会連携の推進、優秀な志願者の確保、周年事業の活性化等、法人が重点的に取り組む各事業にかかる広報活動の行動指標 ③ 学内広報マインド醸成のための、教員、職員とのコミュニケーションの質・量を測る行動指標</p>	<p>【21】 協定校(覚書)数：100大学</p> <p>【49】 進学ブランド調査（関東エリア）： 知名度 60%（ランキング30位以内） 大学ブランドイメージ調査（首都圏版）： 総合ランキング 20 位以内</p>
5 課題解決を目指した地域社会との協働の推進		
<p>(1) コーディネート機能の強化による地域連携の推進 ① 地域貢献センターのコーディネート機能強化による、県市等との連携の推進・発信</p>	<p>① 地域実践研究等の実施件数・地域貢献センター相談対応件数 ① 市の施策立案等に関わる連携取組件数<市の中期計画関連></p>	<p>【16】 横浜市との連携取組件数：45 件 / 6年間累計</p>
6 医学部・病院等再整備事業及び統合を見据えた取組の推進並びに経営基盤の強化		
<p>(1) 2病院の連携・経営基盤の強化 ① 2病院の連携の推進と経営基盤の強化（役割分担） ② 2病院の共通化・共有化</p> <p>(2) 最高水準の医療・医学研究・人材育成拠点の実現に向けた再整備の検討推進 ① 医学部・病院等再整備基本計画、実施計画、基本設計書、実施設計書の作成</p>	<p>① 手術件数【医療2-(1)】再掲 ① DPC入院期間II以内の退院割合【医療1-(4)】再掲 ① 平均在院日数 ① 新入院患者数【医療3-(3)】再掲 ① 外来初診患者数(新患率)【医療3-(3)】再掲 ① クリニカルパス適用率【医療1-(4)】再掲</p> <p>② 2病院統合に向けた指標は検討中</p>	<p>【23】 手術件数：【附】7,000件、【セ】8,600件 【23】 平均在院日数：【附】14日、【セ】12日 【34】 新入院患者数：【附】15,000人、【セ】20,500人 【34】 クリニカルパス適用率：【附】40%、【セ】50%</p> <p>【23】 外来初診患者数(新患率)：【附】180人/日(10%)、【セ】190人/日(12%) 【34】 人件費率：【附】50%/年、【セ】50%/年 【34】 医薬品費比率：【附】24%/年、【セ】23%/年 【34】 診療材料費比率：【附】14%/年、【セ】15%/年</p>

中期計画	指標（たたき台）	【参考】第3期の指標
IV 法人経営		
7 魅力的なキャンパス・病院作り		
(1) カーボンニュートラルをはじめとする社会的要請への対応		
① 本学キャンパス内の各建物の正確な現状把握（省エネ性能の評価や設備の基礎調査）に向けた作業の委託検討		
② 横浜市による総合研究教育棟及びサークル棟の大規模改修時のZEB化の実現検討		
(2) キャンパスマスタープランの具現化		
① 横浜市による総合研究教育棟及びサークル棟の大規模改修時にイノベーション・commons（共創拠点）を整備	① 計画に伴う環境整備の進捗率	
② 国際混住型留学生宿舎の確保と多文化共生の推進		
(3) 省エネを考慮した計画的メンテナンス		
① 学内建築物の基礎的調査を踏まえた、効率的なメンテナンス計画策定の検討	③ LED化の棟単位の進捗率（13%～72%）	
② 横浜市による大規模改修時にあわせてレジリエンス強化に資する整備計画の検討		
③ 本学の「環境方針」に基づく環境管理システムにつながる、省エネ・脱炭素化実現を考慮した計画的メンテナンスの実施検討		
8 財務内容の改善：運営交付金・貸付金		
V 自己点検及び評価		
(1) 目標の浸透と適切かつ効率的な自己点検・評価の実施及び情報公開		
① 適切な指標やデータに基づく評価の実施		